だが、これは近い将来、必ず実現したい」

―外国観光客もツリーに押し寄せそうです。

「成田エクスプレスがJR錦糸町駅に停車するよう区として運動したい。また羽田空港とスカイツリーを結ぶ直通バスなども実現させたい」

## 情報提供

## 研究会発足

営業経営団
横浜企業財団
支援

今年12月をめどに、プロジェクト内の会社の出資で、新会社を設立する。「デジタルサイネージ」や「キオスク端末」などプロジェクトで開発した製品の販売を担当する。

製造技術の解説のほか、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の楠瀬暢彦氏が地域の省エネへの取り組み事例などを紹介する。また横浜市地球温暖化対策事業本部の高橋俊和氏が市の取り組みを紹介する。

問い合わせは同財団産学連携課（045・225・3733）へ。

## 品質維持

「全体としての品質は維持しながらも、部分部分で過剰となっている品質の見直しを進めなければならない。これを進めるためにも、協力会社とコミュニケーションを密にし、現場の生の声を拾うことが重要だ」

―地域に対する取り組みは。

「地域への還元を目的に例年夏に、高崎工場で『工場祭』を開いている。芸能人、また子ども向けに特撮ヒーローを招いたショーや、抽選会を催している。第13回となる今年は9月4日に実施し、『オープンハウス』と名づけた工場見学会も行うことを決めた。従業員の家族に、普段どのような仕事をしているかを知ってもらうためだ。従業員本人の動機付けにもなる。工場には協力会社や地元住民も受け入れる方針だ」

（群馬・平岡乾）

（水曜日に掲載）

●工場概要●

【高崎工場】▷完成年月＝1963年1月▷製造品目＝自動車用のニードル軸受など▷従業員＝600人▷所在地＝群馬県高崎市八幡町358、027・343・6431

## 大型サイズの傘・杖ホルダー

## 巣鴨信金と開発

アキヤマ

アキヤマ（埼玉県朝霞市、秋山力社長、048・463・9551）と巣鴨信用金庫（東京都豊島区、田村和久理事長、03・3918・1131）は「傘・杖（つえ）ホルダー＝写真」を共同開発した。金融機関が取引先企業と製品を共同開発するのは珍しいという。同金庫では取引先の製品にユーザーとしての声を反映し、売り上げ増を図ることで中小企業を支援する考えで、この取り組みを広げていく。

同社と同金庫は2005年に現金自動預払機（ATM）向けの杖ホルダーを開発。店頭窓口の職員の意見を取り入れ、従来品よりもサイズを大きくした傘・杖ホルダーを開発した。ホルダー表面だけでなく裏面にも滑らない加工を施してある。「来店客に差し出すことで心からのおもてなしを実感してもらえる」（巣鴨信金）という。

色は黄、青、緑、黄緑、オレンジ、ピンクの6色でサイズは2種類。価格は1000円（100個注文の場合）で、すでに巣鴨信金に200個納入した。8月1日からアキヤマが金融機関や病院、官公庁などカウンター業務のある事業所向けに販売していく。

アキヤマは樹脂加工や看板製造を手がける。

## 成長戦略盛り込み

栃木県知事

【宇都宮】栃木県の福田富一知事は27日の定例記者会見で、食品関連産業の振興を目的とした「フードバレーとちぎ」から5年間にわたる県政の基本方針を示す「県総合計画」に成長戦略として盛り込む考えを示した。産業政策の重点分野に位置づけ、食品関連産業の一層の振興に努める。また施策を推進する学など関係機関で構成する連携組織を構築する方針も示した。

## 情報フラッシュ

◆29日に発表会

ベンチャークラブちば（千葉市美浜区、043・299・2907）29日14時半から千葉市美浜区のホテルグリーンタワー幕張で、「第22回ビジネスプラン発表会」を開く。旦千花（千葉県八街市）の大規暁子社長らが資金調達や市場開拓などのパートナーを求めて事業計画をプレゼンテーションする。定員100人、参加無料。問い合わせは千葉県産業振興センター内の事務局へ。ベンチャークラブちばは千葉県の経済団体などが参画するベンチャー企業の支援組織。

◆来月1日まで上映

埼玉県や同県川口市など主催する「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2010」が開幕した。8月1日までの会期中に、川口市のSKIPシティでコンペティション部門の応募作品や招待作品など計44本を上映する。デジタルシネマに特化した映画祭。1次審査を通過した23の作品を映画祭で最終選考し、最優秀作品賞などを選出する。

## ラウンジ

### 逆境でも新製品

▽…「味付け素材としての漬物が伸びてきている」と話すのは、にんにく漬けなど、各種漬物製造の片山食品（新潟県新発田市）社長の片山吉朗さん。

片山さん

▽…世間では〝食べるラー油〟が人気沸騰中。そんな流れが漬物にも来ているようだ。「ご飯などにふりかけて食べる、当社の『しょうが味噌にんにく』も売れている」と二ッコリ。

▽…一方で、生にんにくの価格高騰というヒットの喜びがかすむほどの問題が発生。「過去一番高かった時の5倍」と頭を抱えるが、待つばかりではいられない。「秋に期待の新製品を出す」と逆境を乗り切る構えだ。

（新潟）


I.M.C 産業人クラブ入会の

巣鴨信用金庫様と㈱アキヤマの「傘・杖ホルダー」の共同開発に関する記事が、
7/28（水）の日刊工業新聞に掲載されました。

manufacturing industry, sign & display
Akiyama co.,ltd.
http://www.akiyama-co-ltd.com